

(様式2)

令和3年度 自己評価表

学校名 湯梨浜町立羽合小学校

校長名 谷口 章人 印

1. 学校の教育目標

やさしく かしく たくましく
～仲間とともに 地域とともに 未来を切り開く子どもの育成～

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- 落ち着いた生活の中で、「個」と「集団」の力を伸ばす。
- 育てたい（育てなければならない）資質・能力が身につく授業改善を進める。
- 地域とつながり、地域に根ざした教育活動を充実させる。

3. 年度当初の評価項目

評価項目	現状	めざす姿	具体的方策	評価方法
【やさしく】 ○進んであいさつ	・元気のいいあいさつをする子は決まっている。 ・いつでもどこでもだれにでもあいさつをできる子は少ない。 ・客人へのあいさつはほとんどできない。	・自分から、誰にでも、いつでも明るいあいさつができる。	・あいさつのSSTの時間を持ち、指導する。（4～5月に実施） ・あいさつ運動のパターンの工夫。（校舎内で、挨拶相撲等）	・SSTの学習後にチャレンジ週間を設けて動機付け、振り返りを行う。 （児童：ワークシート活用） ・児童：学校評価アンケート「進んであいさつ」→80%（昨年度76.6%）
○友だちを大切にした言葉遣い	・呼び捨てする子が多い。（子どもたちは親しさをもって言っているが） ・思い通りにならないときなど、人を傷つける言葉を遣う子が多い。	・友だちを大切にした呼び方、伝え方ができる。	・言い方・伝え方のSSTの学習を行う。 ・あたたか言葉の取り組み（6、12月）	・SSTの学習後にチャレンジ週間を設けて動機付け、振り返りを行う。 （児童：ワークシート活用） ・児童：学校評価アンケート「さんづけ」→93%（R2:91.0%）

(様式2)

○あたたかい学級づくり	・自尊感情が低い児童が多い。 ・自信がない子が多く、挑戦できない。 ・自分勝手な言動をする子がいる。 ・学級として1つのチームという認識を持ててない子がいる。	・友だちの思いを受け取り、協力する（助け合う）ことができる。	・聞き方のSSTの学習をする。 ・クラス会議を実践する。（学年部で4～5月に授業公開） ・いいこと見つけを実施する。（言う、貼る、お手紙等）〔2学期〕 ・場をあたため、子どもどうしをつなげるミニエクササイズを実施する。 （各学年で取り組み方を決める）	・SSTの学習後にチャレンジ週間を設けて動機付け、振り返りを行う。 （児童：ワークシート活用） ・児童：hyper-QU 「居心地がよいクラス（承認得点）」 - 質問2→80%（昨年度77.2%） - 質問3→80%（昨年度78.5%） - 質問4→88%（昨年度85.6%）
【かしこく】 ○ICTの効果的な活用 ○基礎・基本の定着	・学習意欲が低く、課題に対して興味関心がわからない児童がいる。 ・特別な支援や配慮を要する児童が多く、個のニーズに応じた支援が必要である。 ・基礎的・基本的事項や技能が定着していない児童がいる。 ・わからないことをそのままにしているために、学年が上がるにつれ、学力の差が大きくなっている。 ・学習意欲の低い児童が多い。	・ICTの使い方がわかり、情報を収集したり、選択したりすることができる。 ・四則計算や読み書き等、基礎的・基本的事項を身に付け、学んだことを活用している。	・ICTを活用した授業を位置づけ活用する。（朝学習・各教科） ・デジタル教科書を活用する。 ・ICTを活用した授業づくりのための職員研修を実施する。 ・アンケートでの児童の実態を把握し、授業改善につなげる。 ・全国学力・学習状況調査、とっとり学力・学習状況調査の考察。 ・朝学習、水曜6限の時間に、基礎・基本（四則計算や読み書き）の習得を図る学習の充実。 ・言語環境の充実 「ことばのちょきんばこ（語句・語法）」を掲示し、活用する。（短文づくり・日記など） - 国語学習で、関連図書の読み聞かせをする。	・教師：ICTの使用についてのアンケート「毎日の授業に位置づけようとした。80%」 ・児童：情報機器の活用能力アンケート「各項目80%」 ・国語・算数の単元テスト（EXを除く）80% ・週に1回程度、「ことばのちょきんばこ」を活用した。80% ・本の借し出し冊数 - 低・中学年：80% （中間50冊、年間100冊） - 高学年：70% （中間40冊、年間80冊）
【たくましく】 ○基本的な生活習慣の定着	・就寝時間が遅い。 ・ゲーム・スマホの約束の共有が親子できていない。 ・メディアに関わる時間が長い。	・生活リズムが確立できる。	・メディアに関する学習を行って、各家庭に持ち帰りルール等の確認、保護者が啓発の動画視聴。 ・ぐっすりデーを実施する。（毎週）	・ワークシートの回収率85% ・ぐっすりデーの達成率85% ・ハワイふれあいデーの結果85%

(様式2)

○体力の向上	・生活リズムが整っていない。 ・姿勢の保持が難しい。 ・新体力テストで県平均を下回る種目が多い。	・進んで運動し、目標をもって体力づくりに取り組むことができる。	・ハワイふれあいデー（ノーメディア、中学校との連携） ・短時間運動プログラムを体育や業間活動で実施する。 ・スポーツの楽しさに触れる体験（スポーツ教室）をし、体を動かす意欲を向上させる。 ・新体力テストの結果から目標をもって運動に取り組むようにする。	・短時間運動プログラムに取り組むことができたか。 ・運動することが楽しい。85%（体育アンケート） ・お子さんは学校で元気に体を動かしている。（運動している。）85%（保護者アンケート） ・体力テストの考察を指導に生かせたか。
○あきらめず粘り強く取り組む児童の育成	・粘り強くできない。 ・向上心が乏しくあきらめやすい。 ・そうじに一生懸命取り組む子が少ない。	・粘り強く働くことができる。	・掃除場所に掃除の手順、やり方を掲示する。 ・掃除道具の充実（掃除したくなる工夫）	・だいいじ掃除にがんばっているか。（学校評価アンケート（児童））85%
【開かれた学校】 ○積極的な情報発信	・学校は、学習公開や各種便り、ホームページ等で情報発信を行っているが、保護者からの意見からも、まだ十分とは言えない。	・学校から積極的な情報発信を行い、学校や学級の様子や、学校の経営方針等を保護者や地域が共有している。	・学校の情報を通信やHP等で発信する。 ・保護者アンケートや学校公開等で出された意見や感想をもとに、できることは改善していく。	・学校からの通信やホームページの更新の頻度を昨年度より増やす。 ・アンケート等で出された意見を協議し、丁寧に対応していく。
○地域に学ぶふるさと教育の推進	・地域にでかける学習は多くしているが、地域の人との深い交流や地域に貢献する活動はまだ十分ではない。	・地域に愛着を持ち、地域の人と交流を深めたり、地域に貢献したりしようとしている。	・生活、総合的な学習の時間の活動計画に基づき、地域と深く関わり地域に発信する学習になるよう工夫する。	・単元計画に基づき、地域の人、もの、ことと深く関わる学習ができたか。